



平成27年 12月11日発行

第67号

北海道ムーブメント教育研究会会報

本年、8月に開きました夏季講習会の様子を報告いたします。今回はムーブメント教育研究会発足以来、初めての函館市での午後開催で、会場は函館市立金堀小学校をお借りしました。お二人の講師の方をお招きして、『誰でもできる！楽しい「音楽づくり」「鑑賞」の授業』というテーマで行われた講習会は、主に道南の先生たちのたくさんのご参加をいただき、熱気あふれる会となりました。

遠路はるばる札幌方面からご参加いただいた先生方、そして、会場校の金堀小学校でお世話いただいた金谷校長先生をはじめ、教職員の方々にこの場を借りまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 演習1 『音楽づくりの一步を踏み出せる授業アイデア』

～子どもの思考を活かせば音楽づくりの授業は楽しくなる

講師 平野 次郎先生 (筑波大学附属小学校教諭)

いつも子どもたちの自由な発想、思考を大事に音楽の授業をされている平野先生。たぶん、日常の学級経営でも安心感が生まれる関わりをされているのでしょう。短時間の演習でも参加者との関わりをすぐに作られ、終始笑顔あふれひとときとなりました。輪になって、互いの表情が見える中、バスウッドドラムの拍子打ちで次々に醸し出される一人一人の音楽は、こんなにも違うものなのかあ～と音楽を作ることの新鮮さを感じた思いです。音楽って、実はかまえることなく簡単に楽しみながら作れるものなのですね。



#### 演習1 アンケートから

- ・とても分かりやすく、目からうろこの内容でした。どの子も活躍できる場の作り方、子どもへの声のかけ方など、とても勉強になりました。
- ・学校に戻ったらすぐに実践したい内容で、とても勉強になりました。音楽専門でない自分でもまねできそうで、次の授業が楽しみになりました。
- ・音楽の楽しさ、深さがさわやかに伝わりました。すごいです。

### 演習2 『体の動きをつかった鑑賞学習』

講師 高倉 弘光先生 (筑波大学附属小学校教諭)

今回のお話の中心は先生ご自身が校内の全校朝会で行った鑑賞授業の実践です。1年生から6年生の全校児童対象の鑑賞は、発達段階に幅があり、“どの子も楽しめる”という内容にするにはかなりの工夫が必要です。しかしながら、私たち大人でさえも左の写真のように先生の動きに思わず引き込まれ、体を動かさずにはいられなくなる「カリンカ」の鑑賞は、圧巻でした。ただ曲に合わせて指揮をしているだけではなく、そこにはたくさんの音楽の大事な仕組みや要素、速度、リズム、拍の流れ、反復などがちりばめられ、知らず知らずのうちに体で受けとめ、心で感じる鑑賞学習となっていた講習でした。



#### 演習2 アンケートから

- ・鑑賞というと“ワークシート”という頭でした。(反省します)新鮮でした。
- ・身体を使いながら、体感しながら音楽の仕組みに迫っていける技もそうですが、自分自身も楽しんでできるということがとても嬉しかったです。
- ・鑑賞に必要なことは共通事項にある要素をいかに楽しく感じ取らせるかだと聞きました。今回の講座で遊びの中から音楽的要素に関わる言葉を引き出す技を学ぶことができ、毎時間の導入にいいなと思いました。

## 「本気度」

研究部 高倉弘光

昨年末、国が先導して「音楽づくり」に関する指導 DVD（「楽しく実践できる音楽づくり授業ガイド」全3枚組、学事出版）を発売した。財政が逼迫していると言われている国が、相当額の負担をかけてこのような DVD をつくることはかなり稀なことだそう。これは、国が、もっと言えば文科省内で音楽科を担当している人が、音楽づくりをマジで推し進めようという「本気度」を示していると言える。

もう一つ本気度にかかわって。この秋スタートした NHK の教育番組がある。毎週水曜日の朝にやっている「おんがくブラボー」という 10 分番組だ。ご存じだろうか。ここ 10 年以上音楽科にかかわる番組をつくって来なかった NHK が、音楽の番組をつくっているのだ。私も番組づくりのお手伝いをさせていただいている。企画は昨年末からだ。私のような企画協力委員は、音楽学者の野本由紀夫先生、文部科学省の調査官である津田正之先生を含めて全部で 5 名いる。実は番組をつくっているプロデューサーと言われる人々は、音楽の専門家ではない。もっと言えば、音楽のことに限らず、子どものこと、学校教育のことに精通している…とは言えない人々が番組をつくっているようだった。しかし、この番組をつくるにあたって、どのようなコンセプトで、どこに焦点を当てて、どんなことを大切にしていけばいいのか、とても真摯に私たち協力委員の話に耳を傾けてくれた。この本気度には頭が下がる思いがした。

結局、今回の番組づくりでは、「授業」そのものに焦点を当てることとなった。経験の浅い先生、音楽の授業をどのように進めたら良いか困っている先生をターゲットにしているのだ。授業がコンセプトだから、全 10 回のシリーズのなかで「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」全般にわたって番組をつくっている。それぞれの回では、その道に明るい現場の先生にもいろいろ意見をいただきながら内容について検討が加えられているところも出色だ。

これまで NHK がつくってきた音楽教育番組は「ふえはうたう」「まちかどドレミ」など、一つの楽器に特化したものや、どちらかと言えば低学年向きの授業イメージに的を絞ったものが多かった。今回のようにさまざまな学習領域・内容に踏み込んだ番組づくりは、おそらく初めてではないだろうか。特に「音楽づくり」や「鑑賞」に関して扱ったことは、全国の先生方の強い味方になると思われる。

とは言え、プロデューサーの話によれば、潤沢な予算があるわけではないので、いろいろな制作上の制約があるし、10 分しか枠が取れないのだそう。10 分しかないことに私も不満を言ったが、最近の教育番組は放映される番組そのものだけをコンテンツにしていらないらしい。パソコンで番組のホームページに入ると、指導案など多彩なコンテンツがあるのだ。普段の授業の中で、この番組をどのように位置づけ、生かせば良いのかがわかるようになっている。へえ…、なかなかよくできている。

「おんがくブラボー」の番組は、3 学期にも後半の 5 回分が放映される。ぜひご覧いただきたい。しかも、このシリーズは向こう 3 年間再放送されることが決まっているらしい。NHK の本気度が広く伝わっていけばいいな…。

(たかくら・ひろみつ 筑波大学附属小学校)

## 北海道ムーブメント教育研究会

## 平成 27 年度・事務局体制

会長 大坂 克之 (あいの里大藤幼稚園長)  
 事務局 (総務) 亀山 比佐 (札幌市立札幌緑小学校)  
 事務局 (会計) 竹内 倫子 (札幌ゆたか幼稚園)  
 事務局 (研究) 細貝 睦 (札幌市立光陽小学校)  
 研究担当 高倉 弘光 (筑波大学附属小学校)  
 畠山 美砂 (札幌市立伏見小学校)  
 田尾 明子 (札幌市立新琴似南小学校)  
 齋藤 恭子 (札幌市立幌東小学校)  
 石田 晃大 (札幌市立もみじの丘小学校)  
 新田 貴博 (札幌協働福祉会第 2 むう)  
 国府 由香利 (美深高等養護学校あいべつ校)

会計担当 西 祐子  
 三上 恵 (奈井江町立奈井江小学校)  
 広報担当 西 宏 (札幌市立篠路小学校)  
 織田 暁知 (札幌市立資生館小学校)  
 上埜 光規 (札幌市立月寒東小学校)  
 竹浪 恵 (札幌市立新琴似北小学校)  
 中村 真紀  
 会計監査 本間 達志 (札幌市立篠路小学校長)  
 塚本 宏美  
 常任顧問 堀田 吉宏 (北海道教育大学札幌校非常勤講師)

今回は、永年の音楽ムーブメントによる統合保育実践から、長所を少しく述べます。

**共感・共有・共生の社会観や人間観の育ち ～ 人間として多様性への許容量の増大**

具体的にいえば、

- ①「場の共有」により、お互い多くの刺激があり「育ち合い」の状況が生じやすい
- ②発達に心配のある子どもにとって、恥じらい・尻込みの軽減や意思表示の気持ちが育ち易く、自然な人間関係と社会適応への良い影響を及ぼし易い。
- ③私たち人間社会にはいろいろな人たちが存在し支えあってこそ成立する、という理解をもたらし、偏見への軽減や優しさ・思いやりの心情が育ち易い。
- ④幼児期。学童低学年期の多様性の集団体験は、思春期後のコミュニケーション能力や良好な人間関係を助長し易い。

**私たち支援者(保育者・教員)にとっては ～ 育ち合いの構築＝子ども同士の関係性**

- ①有能感(competence) のみの視点で子どもを捉えた保育・授業方法は???である。
- ②発達に心配のある子どもの行動は、時には健常児の代弁であることが多々ある。
- ③先生と子どもの交わり、子ども同士の関係性＝二者～小集団～学級全体

**高等養護学校の音楽室**

北海道美深高等養護学校あいべつ校・国府 由香利

美深高等養護学校あいべつ校は、上川管内愛別町（人口3千人程度）の町の旧愛別高校校舎を改修して設置された学校です。開校2年目であり、まだ1学年、2学年合わせても29名の在籍の小さな学校です。愛別町の行事にも多数参加させていただいていますが、今年は新たに「愛別町児童生徒音楽発表会」に参加することになりました。

えっ?! 10月の最終週ですか?! 絶句してしまいました。

実は、高等養護学校の10月はものすごく忙しく、各学年現場実習が目白押しです。

「音楽」は、振り替え授業のため1時間もありません。高等養護学校で朝1時間目の「体育」(体づくり)を音楽に振り替えていただくのは、本当に心苦しく申し訳ない気持ちでいっぱいですが、なんとか、5時間ほどいただきました。しかし、合唱となるとパート練習も必要?! こうなるとあとはマンパワーで乗り切るしかありません。「申し訳ないですが、先生方も一緒に歌って頂けますか?」とお願いしました。高等養護学校に入学してくる生徒は、小中学校時代、このような発表会ではあまりスポットライトに当たっていなかった子たちばかりです。つまり、「良い思い」をして来なかったのですから、音楽の行事に関して言えば「意欲を持って取り組む」ことがかなり難しいと言っても過言ではありません。演目に関して「合唱」だけでは、意欲を喚起できないなあと思いました。さらに思ったのは、小学校、中学校の発表があり、私たち「高校生」の発表です。恥をかかせたくない、「下手」だと思われたくない、彼らのプライドを損ねることはしたくない、と言うのが私の思いでした。そこで音楽の授業で取り入れている「軽音楽部」的な活動。つまり「バンド」を発表するのはどうだろうかと生徒に投げかけてみると「それならやりたい」とのこと。「それならやりたい」と言うことは、「合唱」だけなら「やりたくない」ということなのでしょう。やはり行事に対するインストラクションの必要性を感じました。当日、合唱曲「虹」は、先生はあくまで黒子、合奏「RPG」では、ギター、ベース、シンセに管楽器の応援もいただきました。精一杯演奏でき大満足で学校に帰ってきた生徒たちに私は問いかけてみました。「楽しかったですね。これで少しでも音楽を好きになってくれましたか?」生徒の一人が「そこそこ」と言って全体に笑いが起こりました。「そこそこ」と言った生徒は、音楽が苦手な合唱の練習になかなか参加できなかった生徒です。今回、素晴らしいのは、様々な課題、問題のある生徒たちが全員参加できたことでした。「音楽」は嫌いなのではないのに、学校の「音楽」を嫌いになってしまった。高等養護学校の音楽の授業はまずそこを払拭することから始めるのだと感じた出来事でした。



## 観てみませんか？ ～幼稚園の『朝の会』～

幼稚園によって様々ですが、今回は自園の『朝の会』を紹介します。  
当園はバス通園児が多く、10時頃からクラスの活動の始まりとして、朝の会を行っています。子どもの状態に合わせて、椅子に座ったり、床に座ったり、グループ毎に並んだり、半円形になり、お互いの顔が見えるようになど、環境も変えています。皆が座り準備が整うまでは、手遊びをしたり、絵本を読んだり、季節の歌を歌ったりしています。



会の流れは、・朝の歌・挨拶・お休み調べ・当番活動・先生からのお話となっています。お休み調べでは、返事と合わせて「元気です」「少し風邪をひいています」など自分の言葉で伝えてもらいます。また、子ども達が心待ちにしている当番活動では、クラスの欠席を職員室に伝えに行く大切な役割を担います。誰がどうして欠席かを伝えることで友達への関心をもつようになります。その間クラスでは担任としりとりや伝言ゲーム、なぞなぞなど座ったままできる遊びをして待っています。

約15分位の会の後は体操をし、その日のクラスの活動がはじまります。毎日行うからこそ楽しく、充実した時間になるように心がけています。

### 平成27年度 冬季講習会開催要項

1. テーマ 「こどもの育ちがステップアップ！～音楽の授業を通して～」
2. 日時 平成28年1月7日（木）9：00～
3. 場所 札幌市立新琴似小学校  
〒001-0907 札幌市北区新琴似7条3丁目 2-1 TEL：011-761-3178  
（JR学園都市線「新琴似駅」より徒歩10分、地下鉄南北線「麻生駅」より徒歩15分）
4. 日程

8：30～	受付
9：00～	開会式
9：05～	講座1 平野 次郎先生（筑波大学附属小学校・教諭） 「教科書教材アレンジ術（音楽づくり編）」
11：15～	休憩
11：30～	講座2 国府 由香利先生（北海道美深高等養護学校あいべつ校・教諭） 「特別な支援が必要な生徒のための音楽表現」～音楽で育てたいこと
12：20	閉会式

5. 主催者 北海道ムーブメント教育研究会  
事務局 札幌市立札幌緑小学校内（亀山）  
〒007-0813 札幌市東区東苗穂 13条4丁目9-30
6. 後援 札幌市教育委員会（申請中）
7. 参加費 一般3000円、会員・学生2000円
8. 申込み [電話・FAX・インターネットから] 札幌市立札幌緑小学校 亀山比佐まで  
TEL 011-792-2480 FAX 011-792-4179  
<http://hokkaido-movement.jimdo.com/> 「北海道ムーブメント教育研究会」で検索